

教育環境基本方針答申案 説明会 意見集約表

R6年1月

【説明会後のアンケート意見の集約】

■説明会参加者数 来島25名 頓原20名 計45名※延べ人数

■アンケート回答者22名／説明会参加者延べ45名 回収率48.9%

I 【町の政策等】

年代

①施設志々小の老朽化について心配していましたが、令和6年度に予算で検討中ということで安心しました。ぜひ、しっかりと行っていただき、現状況を報告して欲しいと思います。今回の地震のこともあり、やはり子どもには安全・安心な学校に通わせたいと思います。財政的なこともあると思うので、新校舎に、とは言いません。校舎の状況によっては、再編を検討していただき迅速に対応して欲しいです。

30

②不登校不登校児童、生徒が増えているようですが学級の人数との関係性があるかどうか、作野先生に調べてもらい次回の検討委員会で報告いただく事は出来ませんか？仮に、小人数になるに従って不登校率が増える事があればその対策についても検討が必要と思われます。町だけでは分かれませんので、県、国等視野を広げてのデータをお願いします。

40

③少子化様々な施策をするのに少子化に歯止めがかからないのはなぜですか。施策の方向が違うのでは？

40

④教育保小中高一貫をしているのからもっとそれぞれの学校同士が関わる機会が増えて欲しいです。よろしくお願ひします。

10

⑤保育所小学校存続となると保育所も存続となります。現在保育所4ヶ所とも老朽化が進み、修繕を繰り返しています。赤名保育所は立地条件も悪く、保護者から心配の声も上がっています。さらに職員数も問題であり、年々増加する支援を必要とする児童に対する加配保育士の配置により、保育士数の不足が埋まらない状況です。各保育所がギリギリのところで日々の保育をしており、余裕のある環境が作れない状態です。このようなことを考えると、一か所でも統合すれば職員数の余裕ができ、子育て支援の範囲拡大にも繋がると思っています。ただ、これは大人の事情であって、子ども達のことを一番に考えたうえではどうなのかということも思います。

60

⑥スクールバス中学校が統合した場合、志々地区から遠距離にならないところを望む。これは、志々エゴではなく、どこからも同じ距離になるよう配慮がいるということ。また、スクールバスの確保は必須だが、運転手不足が懸念される。運転手の育成、確保をしっかり考えておかないといけない。

60

⑦施設財政的な面もあるが、建物について、最小限の安全の確保に努力してほしい。

60

Ⅱ 【再編について】

	年代
①中学校が合同にと一つの母校がなくなるわけだから、保護者の意見も必要だけどなにより学生の気持ちもあるから、学生の意見も聞いた方がいいかなと思いました。(中学校を合同とすることをどう思うかなど)	10
②統合の面については、保護者からの意見等はもちろん、生徒の意見も反映させてほしいなと思いました。精神的な面も含まれてくると思うので、ぜひ意見を反映させてほしいなと思いました。	10
③中学校に関して意見がまだ拾いきれてない。まだ結論が出せないような思いを感じた。部活を統合して交流を深める時間を大切にする。小学校の間に4つの小学校の交流を深めて顔をあわせる時間を多く作る。中一ギャップを出来るだけ少なくする。不登校気味が多い事はとても問題と思う。	70
④中学校の場所は地図上の中心という考え方ではなく、先々小学校も統合も考えて決めるに良いと思います。仮に飯南高校を中心に考えると、そのまわりに学校を集めることも良いと思います。学校ゾーンみたいなイメージで進めるのもよいと思います。赤名、頓原、来島、志々の中で飯南町の中心は?と聞かれたら来島が中心かなと思う人が多いと思います。片寄った場所にするとなかなか理解が得られないと思います。全ての人に理解を得られることは無いと思いますので、ある程度思いきった考えも必要だと思いました。	40
⑤なかなか難しいと思いますが、具体的な年数や、学校の場所など「案」又は「意見」をつのって、それに対しての意見を聞いてみたいと思います。	40
⑥委員としてこの会に参加させていただき、説明会にも参加し、たくさんの方の様々な意見を聞けば聞くほど、私には本当にどのような形になるのが正解であるのかわからなくなります。もちろん、正解はなく、どのような形になっても一長一短あると思っています。地域住民としての思いは学校が残って欲しいという思いがあります。志々地区の子ども達は少ないながら、保育所も小学校も 地域との関わりの中で幸せな育ちをしています。それは小規模であるがゆえの利点だと思います。そのようなことを思えば、存続も必要かと考えます。 検討委員会の中でも以前意見が出ていましたが、子どもたちの意見を聞くことも必要かと考えます。この度の会で高校生が意見を出されました。参加されることじたい、感心しましたが、この問題に対して、自分なりの意見を持っていて、学生目線の意見で良かったです。保護者の意見も必要ですが、子ども達の意見を聞くことも必要だと改めて感じたところです。とりとめもない内容で結論も出ないままですが、委員会に会も終盤になりましたので今の思いを書かせていただきました。	60
⑦小学校は4校、中学校は1校へするに賛成です。私は志々小学校出身です。全校生徒が20人以下とともに少なかったからこそ、貴重な経験ができたからです。人数が少ないと関わる人が少なくなってしまうデメリットもありますが、一人一人が輝ける機会が多く、小さい頃から人前で話す機会があるので成長していくうえで、どんどんその力が身につき、社会でもその力が発揮できると思っています。人数が少ない学校には都会の学校にはない素敵な魅力がたくさん詰まっています。小学校はいまのまま残して欲しいです。	10
⑧もっと地域の人との関わりが増えれば、さらに飯南町の魅力になると思います。私は、少人数学校の方が子ども達にとっていいと思います。それは、教師にとっても一人一人の子どもに手厚い指導ができ、教師が子ども達に合った教育が出来るとおもいます。また、子ども達が大人の意見をもっと聞くことができたり、意見交換の出来る場がもっとあるといいと思います。	10
⑨子どもの教育環境と可能性の最大化を第一に考えてほしい。小学生があの中学校に行きたいトキメキのある中学校をつくって下さい。	40

Ⅱ 【再編について】

年代

<p>⑩高校を卒業して思う事は、小学校統合についてはしなくてもよいと思います。中学校統合については、した方が良いと思います。一番の大きな理由として、部活動の問題です。私は実際に合同チームを組んでいた時に放課後通うのが少し大変な思いをしました。（町バスを利用していまいしたが部活の終わり時間が合わなかったえり）中学生以上の意見を聞いてみたらいかがですか？私の周りの友人は飯南町から出ている人が多く、飯南町に戻りたいと言っている人がおおくいます。飯南町で受けてきた教育があつて飯南に戻ってきたい人が多いのではないかと考えます。なのでこれから飯南を好き戻って来たいという教育を、もっとしていくべきだと思います。</p>	10
<p>⑪小学校等の再編について、賛否両論あるのは当然ですが、そこに住んでいる子ども達、保護者の考えを最重視してもらいたい。何にしても、子どもの教育のことですから！地域の住民（特に学童のいない方々）の意見は二の次です。谷小学校はなくなても公民館が中心となり活性化しているではないでしょうか？</p>	70
<p>⑫小学校はこのまま存続に賛成である。その理由は、特性を持つ児童、また、家庭において充分に家庭教育ができない家庭が増える現実の中で、（勿論、すべて自立できない場合もあるが）保育所と小学校、家庭や地域がつながり丁寧に育てることで、成人し社会に出た時に自立でき、社会の一員として暮らしていくことが必要、そのためにも親も子も顔の見える小さい単位が大切ではないかと考える。志々小においては、厳しい現実があるが、（15人以下、3学級）現場においては、大変努力されており、特性を持つ児童が、心も体も成長していると感じる。まちづくり推進課に更なる努力、住民努力によりUIターンを促すと共に教頭不在または、教頭兼務については、町単独の加配等検討の余地があるのではないかと考える。</p>	60
<p>⑬中学校の統合においては、私的には統合もあると考えているが、委員の意見に非常に耳を傾けています。部活を通して、生徒は成長をしていく面も大きいと考えるが、現段階の部活がどうだとか云々も大事だが、中学生をどう教育、育てていくかを基本にして考えたい。 学校で勉強がすごくできた。一流校と言われる大学を出た。と言われるが、社会に出て一流かというと必ずしもイコールにならず、コミュニケーションが養われていなかつたり、体力、気力がなかつたり、へこたれてしまう現実も現代には多く発生している。どういう人間に育てたいか、育つて欲しいか学力を高めることはとても大切だが、社会に出てから温かい心を持って、志高く努力し周りと切磋琢磨しながら頑張れる人材を育てることが必要ではないだろうか。</p>	60
<p>⑭急激な人口減により（志々地区は限界集落化も進むと思われるが）UIターンが増える可能性の一つとして、委員が言われるように医療・介護とともに教育（学校）は必要であると思う。</p>	60

III 【説明会に対する感想・答申のあり方について】

年代	
①感想 飯南町の魅力や課題などの現状を知れたので良かったです。	10
②感想 子ども達の事を考えていただきありがとうございます。方針案は前回聞いた内容とあまり大きな変化がなかったように感じた。	40
③答申案 児童生徒数が増加の可能性が少ない中、町教育環境基本方針答申（案）は妥当であると考える。（正確には…残念だがいたしかたない）今回の答申は概ね10年内の事である。今後20年先、30年先（町人口3,000人時）の長期展望についてもご検討願いたい。又は、10年毎（出生数が分かる7年毎でも良い）に町教育環境基本方針を出される必要があると思います。（将来の飯南町の教育に大変ではありますが、ご尽力をお願いします。）	60
④感想 会に参加して思うことは、「みんなとてもいいことを言っておられるが、根本のところで話が噛み合っていない」ということです。これは、発想のベースがバラバラだからではないでしょうか？ 現在進行形で子どもを小中学校に通わせている保護者は、当然その観点からの意見（例：校舎の耐震強度、など）となるでしょう、中高年層はどうしても過去の経験側からの意見（例：小田小・谷小の時はこうだった、など）となりがちです。この会で多様な意見を集めたいという意図は分かりますが、実際の計画立案と噛み合っていなければ、どれだけいい意見であっても結局は切り捨てられてしまうことになってしまします。意見を出す側も「それなら先に言っておいて欲しかった」ということになるのではないか。 例えば「20年先の飯南町の未来のことを考えて議論しましょう」と最初に宣言して議論することはできないでしょうか？現段階では具体的なタイムスケジュールを示すことはできないかもしれません、現実的にはおおむねそのくらいのスパンで考える必要があることは皆さん納得されるはずです。そのくらいの未来に話になれば、時代状況も変化し課題も一層深刻になっていることは誰でも分かることなので、冷静な議論、科学的な議論、未来を見据えた議論ができるようになると思います。	50
⑤感想 参加者が少なかったのは、残念であった。飯南町の教育の基盤となる意見や発言がされとても内容の濃いとなった。（保小中高一貫教育について）高校生が参加してくれてとても良かった。何を考えているか、どうしたいかを知ることができた。このように関心のある若者がいる事がとてもありがたいし、住民の方にとって力になったと思う。全体として建設的な意見が多く、関心が高い方が参加されており、良い説明会になったと思う。	50
⑥感想 本当に今日の意見に意味があるのかな？と高校生として感じた。高校生に意見を求めるのも良いと思う。（大人の人は無し）高校生目線で考えたことがもっと色々な人から出る気がした。高校生も課題研究や自分の体験から意見がたくさんの方（町内生、町外生、県内生、県外生）から出ると思います。	10
⑦感想 少人数の参加でしたが、高校生から大人・委員の方まで色々なご意見が聞けて良かったです。子ども達より、より未来に向かっていけるよう私達大人も頑張っていこうと思いました。	50
⑧感想 大変貴重な会に出席できて感謝しました。今日の説明会以降も見守って行きたいです。	70
⑨感想 両会場とも参加人数が少ないので、都合の悪い人、出にくい人もおられようが、あまり自分事として考えていない人が多いと考える。	60
⑩感想 県下の学校が統合される中、飯南町の学校の存続に努力頂いている考え方に対する感謝をしています。ただ、今後、役場管理職、議会等で、答申を受けて議論されていくと思われるが、これまで、あまり管理職の姿は見えず、書面だけでは伝わらないことに不安を感じる。教育委員会だけの問題ではなく町全体の課題であることを心に留めてもらいたい。	60